

6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実

事業費 4億1,902万円

財源	国のお金	925万円	施策実現のための 主な事業費	多目的総合施設整備事業(十文字地域)	6,122万円
	県のお金	72万円		横手市交流センター費	5,211万円
	市の借金	4,050万円		地区交流センター費	4,618万円
	その他	1,489万円		地域づくり支援事業	3,291万円
	市のお金	3億5,366万円		その他	2億2,660万円

市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、様々な課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆**地域づくり市民活動補助事業(6,020万円)【新規事業】**

住民主体による地域の特性を活かしたまちづくりを推進するため、地域住民による自主的・主体的な地域づくり活動や地域課題の解決を図る活動を支援します。

◆**町内会活動補助事業(2,300万円)**

住民自治の円滑な推進を図るため、自治会や町内会、集落等が行う地域づくり活動や備品整備に要する経費を支援します。

◆**町内会館等建設補助事業(1,000万円)**

住民自治の円滑な推進を図るため、住民自治活動の拠点となる集会施設等の整備を支援します。

◆**十文字地域多目的総合施設整備事業(6,122万円)【新規事業】**

行政、防災機能に加え、生涯学習、市民交流、健診スペースを備えた施設を整備するための設計や調査を行います。

気になる

あの予算をもっと知りたい

その5

新しくなった市民活動や町内会活動の支援事業はどんなものですか？

人口減少や高齢化が進み、これまで行われてきた地域の様々な活動の維持が徐々に難しくなっています。市では、住み慣れた地域での暮らしを守るため、地域のみなさんが地域を支える取組を続けていくことができるよう、地域運営を支援しています。そこで、平成30年度から始まる新たな支援事業や拡充事業をご紹介します。

①**町内会活動補助事業**

町内会等が実施する事業にかかる経費を補助します。例えば、お祭り、防災訓練、花壇整備、運動会などが挙げられます。地域を盛り上げたり、きれいにしたり、災害に強くしたりする活動を支援します。



②**地域づくり市民活動補助事業**

地域の課題を解決する事業にかかる経費を補助します。自力では困難な高齢者や障がい者世帯の除雪支援やひとり暮らしの方の見守りなどの事業が挙げられます。地域の助け合いや支え合いの事業を支援します。

③**町内会館等建設補助事業**

だいぶ古くなった、和式トイレや段差があって不便だ、と感じる町内会館が多くなっています。補助率を上げ、改修を支援します。



6-2 男女が尊重し合う社会づくり

事業費 234万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	ワークスタイル研修受講支援事業	180万円
	県のお金			男女共同参画社会推進事業	54万円
	市の借金				
	その他				
	市のお金	234万円			

男女が互いを尊重し合いながら、家庭や職場、地域などの中で、一人ひとりが輝き、自分らしく生きられる社会が形成されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆ワークスタイル研修受講支援事業(180万円)

働き方改革を推進するために、企業・団体の経営者、従業員それぞれに向けたワーク・ライフ・バランスに関する講演会や研修を開催します。

◆男女共同参画社会推進事業(54万円)

性別に関わりなく一人ひとりが輝き自分らしく生きられるまちの形成に向け、市民による推進協議会やイベントを開催します。

6-3 情報を共有する環境の整備

事業費 4億7,809万円

財源	国のお金	1億8,175万円	施策実現のための 主な事業費	公文書館整備事業	3億6,596万円
	県のお金			市政協力員事業	3,519万円
	市の借金	1億7,260万円		地域情報通信網管理運営費	2,292万円
	その他	1,743万円		コミュニティFM中継局運営費	712万円
	市のお金	1億 631万円		その他	4,690万円

市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆公文書館整備事業(3億6,596万円)

旧鳳中学校を公文書館として利用するため、改修工事を行います。

◆行政情報発信事業(3,950万円)

市報よこての制作や、かまくらFM行政情報コーナーの放送などを行います。

◆横手市情報発信戦略プロジェクト事業(482万円)

市民のみなさんと一体となり情報を発信していく「横手情報センター」が自律的に運営できるように支援します。

6-4 市内外との交流連携の推進

事業費 4億7,291万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	ふるさと納税PR事業	4億4,948万円
	県のお金			ふるさと会支援事業	900万円
	市の借金			シティセールス事業	267万円
	その他	41万円		友好都市交流事業	69万円
	市のお金	4億7,250万円		その他	1,107万円

市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆ふるさと会支援事業(900万円)

首都圏在住の横手市出身者で構成されるふるさと会との交流や連携を通じて、交流人口の拡大や地域の活性化につなげます。

◆ふるさと納税PR事業(4億4,948万円)

ふるさと納税制度を通じて、地域の事業者育成や産業の活性化、横手市の知名度向上、横手ファンの拡大につなげます。

◆移住促進空き家対策事業(300万円)

市内の空き家を購入して県外から移住された方に対し、その購入した住宅のリフォーム費用の一部を助成します。



気になる

あの予算をもっと知りたい

その6

横手市へのふるさと納税はどのくらいあるのですか？

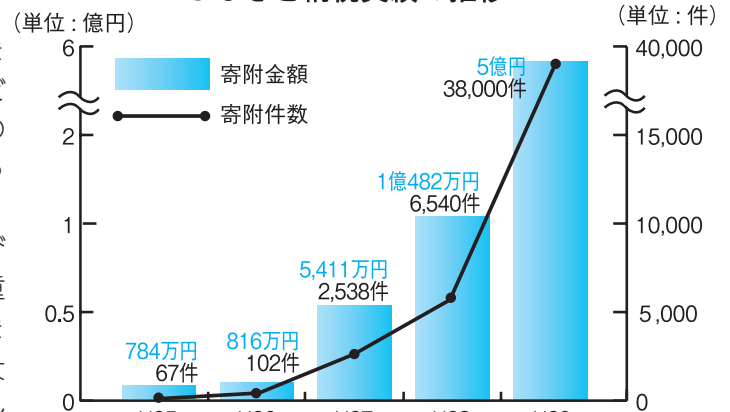
平成20年度に創設された「ふるさと納税」制度は、今ではすっかり定着した言葉になり、多くの自治体がふるさと納税をPRするようになりました。ふるさと納税は、税制上は、自治体への「寄附」という扱いになります。横手市では、ふるさと納税制度が始まった当初は、純粋な寄附金として受け付けていましたが、平成27年9月より、寄附者に対して市の特産物などの返礼品の進呈を開始しました。ふるさと納税に対する全国的な注目度の高まりもあり、寄附件数・金額ともに大幅に伸びてきています。平成29年度は、寄附額が5億円を突破しました。

市にふるさと納税される方は、ご本人やご家族が横手出身という方が多いですが、「以前横手に旅行した際にとてもよい印象をもった」という方や、人気シンガーソングライターである「高橋優さんの出身地だから」というファンの方からの寄附も少なからずあります。

横手市ふるさと納税の返礼品で人気があるのは、りんごや桃、ぶどうといった果物類、あきたこまちをはじめとしたお米、市内各蔵元の日本酒などとなっており、ふるさと納税制度を通じて横手の自然風土が育んだ豊かな味わいが全国へと広がっています。

ふるさと納税された寄附金は、寄附者にお選びいただいた使い道に応じた各事業分野や、市の重点事業・優先事業などの貴重な財源となっています。平成30年度においては、「よこて農業創生大学事業」や「まんが原画収集保存事業」、「雪下ろし雪寄せ支援事業」等の事業費に充当しています。

ふるさと納税実績の推移



※平成28年度までは決算数値、平成29年度は実績見込みの数値です

7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立 事業費 11億7,429万円

財源	国のお金	2,147万円	施策実現のための 主な事業費	議員人件費	1億9,485万円
	県のお金	2,815万円		情報システム運用管理費	1億9,115万円
	市の借金	2,110万円		ネットワーク管理費	9,760万円
	その他	5,182万円		個人番号カード等交付事務費	1,340万円
	市のお金	10億5,175万円		その他	6億7,729万円

行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、PDCAサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆雄物川庁舎整備事業(3,820万円) **【新規事業】**

現庁舎の老朽化が著しいため、同じ敷地内に庁舎を建替えるための設計や調査を行います。

◆証明書等コンビニ交付費(605万円)

マイナンバーカードをお持ちの方は、市が発行する各種証明書等をコンビニエンスストアで取得できます。



昭和35年建設の雄物川庁舎

7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進 事業費 79億7,339万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	公債償還元金	59億8,715万円
	県のお金	880万円		ふるさと応援基金積立金	7億 9万円
	市の借金	4億7,210万円		公債償還利子	4億9,094万円
	その他	2億4,375万円		財産経営推進計画実施事業	4億8,609万円
	市のお金	72億4,874万円		その他	3億 912万円

限られた経営資源(ヒト(人材)・モノ(施設等)・カネ(財源))を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営がされていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆財産経営推進計画実施事業(4億 8,609万円)

人口減少や財源の減少などに対応し、当市の規模に応じた適正な公共施設の数や機能に再構築することを目的として、横手市財産経営推進計画を作成しました。この計画に基づき、今年度は次の施設の解体工事を行います。(旧境町小学校・公民館、旧阿気小学校、山内スキー場、消防署旧平鹿分署、旧平鹿庁舎、旧十文字西中学校、狙半内地区基幹集落センターなど)

◆公共施設トイレ洋式化事業(540万円)

市民のみなさんの利用頻度が高い公共施設のトイレを順次温水便座付洋式トイレに改修します。今年度は、市民会館、平鹿生涯学習センター、亀田地域センター、十文字陸上競技場、スタジアム大雄など10施設のトイレを改修します。

7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実

事業費 82億47万円

財 源	国のお金	1,251万円	施 策 実 現 の た め の 主 な 事 業 費	人件費	81億1,346万円
	県のお金	1億4,510万円		特別職人件費（三役等）	4,792万円
	市の借金			職員研修及び厚生費	2,615万円
	その他	1億2,416万円		特別職人件費（教育長）	1,227万円
	市のお金	79億1,870万円		その他	67万円

職員一人ひとりが、市民（お客様）の立場で考え、柔軟な発想や創意工夫、実践力向上を図り、市民ニーズに対応していることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆職員研修費(381万円)

職員一人ひとりの知識や技術が向上し、同時に全体の資質も向上していく職員研修を行います。

◆厚生費(2,234万円)

職員が心身ともに健康を保持して職務に精励し、家庭生活との両立が実現できていることを職員自らが確認するよう、職場健診やストレスチェックを行います。



職員研修の様子

気になる

あの予算をもっと知りたい

その7

予算書の実物はどんなものですか？ 実際に見ることはできますか？

こちらは平成30年度の横手市の当初予算書です。議案として議会に提出され、議決により予算が確定し、予算書となります。すべての会計の予算書を一冊に綴じていますので、約440ページあります。

予算書はどなたでも見ることができます。閲覧場所は、総合政策部財政課(本庁舎)です。また、市のホームページでも公開しておりますので、PDF形式でダウンロードすることができます。予算書のほか、決算の資料や財政状況の分析資料などもホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

